

# 国指定文化財一覧

R6.8.1現在

件数	種別①		種別②	指定年月日	名称	所有者	摘要
1	重要文化財	有形文化財	建造物	S63.12.19	薦神社神門	薦神社	他に類例を見ない形式の二重門。江戸時代初期の門として九州地方を代表する建築。
2	重要文化財	有形文化財	建造物	S50.6.23	神尾家住宅	個人	江戸時代に組頭を務めた旧家で明和八年(1771)に建てられた九州最古の曲家として有名。
3	重要文化財	有形文化財	建造物	R4.9.20	耶馬溪橋	中津市	長崎県に多い石積み方式を採用しているため、別名オランダ橋とも言われている。橋長116m
4	重要文化財	有形文化財	美術工芸品	H24.9.6	銅造観音菩薩立像	長谷寺	飛鳥時代末期の在銘金銅仏。中国隋風の様式を受ける。毎年4月20日に御開帳される。
5	重要文化財	有形文化財	美術工芸品	H26.8.21	羅漢寺石仏	羅漢寺	延文5年(1360)に、円龜昭覚・逆流建順によって製作された石仏群。釈迦三尊や五百羅漢を中心に545点(供養具等を含む)が指定。
6	重要文化財	民俗文化財	有形民俗文化財	S31.4.26	傀儡子	古要神社	1617年、細川忠興によって制作されたものと考えられている。相撲人形など60体が指定。
7	重要文化財	民俗文化財	無形民俗文化財	S58.1.11	古要神社の傀儡子の舞と相撲	古要舞保存会	上記傀儡子を使用し3年に1度、傀儡子の舞と相撲を奉納。
8	重要文化財	民俗文化財	無形民俗文化財	H28.3.2	豊前神楽	大分県豊前神楽保存連合会	豊前系の岩戸神楽。の国指定団体は、植野・蛸瀬・福島の各団体
9	記念物		史跡	S46.6.22	福沢諭吉旧居	中津市	福澤諭吉の思想を育んだ場であり、著名な啓蒙思想家の住まいした所として重要な史跡。
10	記念物		史跡	H22.2.22	長者屋敷官衙遺跡	中津市	8世紀中～10世紀前半の郡衙正倉と16世紀後半の中世城館の2種の遺跡。
11	記念物		名勝	T12.3.7 S11.7.14	耶馬溪	大分県(管理団体)	大分県の西北部に位置し、中津、宇佐、玖珠、九重町、日田にまたがる景勝地。
12	記念物		天然記念物	S40.6.4	犬ヶ岳ツクシシャクナゲ自生地	農林水産省	巨木となった群落は見事なもので、5月頃に淡紅色で7弁の花を咲かすシャクナゲ。
13	記念物		天然記念物	S10.6.7	耶馬溪猿飛の <small>おうけつ</small> 窟穴群	中津市ほか	自然が造り上げた大小無数の窟穴が川床に広がる。下流数百mに及ぶ。
14	記念物		天然記念物	S16.8.1	鷹巣山	農林水産省	山国町槻木～福岡県添田町に位置し、一の岳、二の岳、三の岳からなる代表的なビュート。

# 国登録文化財一覧

R6.8.1現在

件数	種別①	種別②	指定年月日	名称	所有者	摘要
1	登録有形文化財	建造物	H9.12.12	旧小幡記念図書館	中津市	昭和13年(1938)の改築によって今日の様相をなす。玄関口にバルコニーを設けた木造モルタル建築。
2	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅正門	個人	大正13年築。1間1戸の棟門で、良質のケヤキ材を使った豪壮な作り。
3	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅客間棟	個人	複雑な屋根を構成する平屋建の建物。ヒノキやケヤキの良材・銘木を用いた書院造り。
4	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅奥座敷	個人	客間棟とともに京都の宮大工が手がけたと伝えられ、近代の書院造として洗練された質の高さが伺える。
5	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅居住棟	個人	北側に玄関、南側には銘木を用いた床・付書院をもつ座敷を配す。細部は近代的な造形でまとめる。
6	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅長屋門	個人	寄棟造・棧瓦葺の細長い建物。正面と北側面は白漆喰塗。
7	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅東蔵	個人	1階が収蔵庫、2階が洋風座敷で下に半地下倉庫をもつ。煉瓦造だが、外壁は漆喰塗とモルタル塗を併用する。
8	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅西蔵	個人	木造2階建、寄棟造・棧瓦葺の倉庫建築。防火性能を重視した造り。
9	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅米蔵	個人	東西棟。切妻造・棧瓦葺で、外壁モルタル塗。豪壮な屋敷に相応しい大きな蔵。
10	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅オンドル部屋	個人	オンドルを採り入れた離れの建物。
11	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅物置	個人	北面は煉瓦塀を用い、通用口を開く。
12	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅給水塔	個人	1辺約1.3m、高さ約5m。大正期における住環境を物語る数少ない施設。
13	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅煙突	個人	1辺約0.9m、高さ約4m。居住棟の風呂場用のもの。近代の生活をうかがい知る施設。
14	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅裏門	個人	小規模な1間1戸の棟門。簡素だが堅実な細部を備える。
15	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅北塀	個人	総延長約37m。煉瓦はイギリス積。上部を笠石で覆う。
16	登録有形文化財	建造物	H13.8.28	久恒家住宅南塀	個人	総延長約116m。煉瓦はイギリス積。上部を笠石で覆う。
17	登録有形文化財	建造物	H15.9.19	筑紫亭主屋	筑紫亭	木造 大正3年建設 大正11年増築 造作にも請った数奇屋風の意匠でまとめる。
18	登録有形文化財	建造物	H15.9.19	筑紫亭離れ	筑紫亭	大正末期建設。客室は各々異なるつくりの床で飾る。
19	登録有形文化財	建造物	H15.9.19	筑紫亭塀	筑紫亭	大正期建設。延長17m、高さ3.15m。
20	登録有形文化財	建造物	H12.9.26	旧耶馬溪鉄道一号厚ヶ瀬トンネル	大分県	石とレンガ造り。大正2年(1913)の建設。
21	登録有形文化財	建造物	H12.9.26	旧耶馬溪鉄道二号厚ヶ瀬トンネル	大分県	石とレンガ造り。大正2年(1913)の建設。
22	登録有形文化財	建造物	H9.12.12	旧耶馬溪鉄道平田駅ホーム	中津市	旧耶馬溪鉄道の名残をとどめている近代遺産。
23	登録有形文化財	建造物	H25.6.21	正行寺本堂 一棟	正行寺	木造平屋建 瓦葺 江戸末期建築。 総桁行約27m。入母屋造。正面に向拝三間を設ける。後門形式の平面を持つ真宗本堂。軸部は良質なケヤキの長大材を用いる。
24	登録有形文化財	建造物	H25.6.21	正行寺鐘楼 一棟	正行寺	木造 瓦葺 江戸末期建築。 布石積の基壇上に東西棟で建つ吹き放し形式の鐘楼。真宗寺院伽藍を特徴付ける。

25	登録有形文化財	建造物	H25.6.21	正行寺山門 一棟	正行寺	木造 瓦葺 間口4.3m 四脚門 切妻造 江戸末期建築 柱頭を成が高く華やかな絵 様を施した梁や頭貫で固 め、重厚な軸部を構成す る。
26	登録有形文化財	建造物	H25.6.21	正行寺袖塀 一棟	正行寺	木造 瓦葺 総延長20m 江戸末期建築 北側塀の北面に潜戸を開 く。布石基礎上に須柱を立 てる。
27	登録有形文化財	建造物	H29.5.2	平田家住宅主屋 一棟	個人	木造 瓦葺 3階建 415㎡ 明治中期建築 当地の政財界で活躍した平 田氏の屋敷。県内を代表す る近代和風住宅
28	登録有形文化財	建造物	H29.5.2	平田家住宅新座敷 一棟	個人	木造 瓦葺 平屋建 90㎡ 大正時代の建築。平田家の 新座敷。書院造の建物だ が、外材を多様するなど当 時の流行を示す。

### 国登録記念物

1	登録名勝	庭園	R1.10.16	平田氏庭園	個人	大正時代に造営された、平 田家住宅（国登録）に付随 する庭園。
---	------	----	----------	-------	----	---------------------------------------

### 国選択文化財一覧

	種別①	種別②	指定年月日	名 称	所 有 者	摘 要
1	選択 無形民俗文化財	風 俗 慣 習	S32.3月	傀儡子の舞及び相撲	古要傀儡子 保存会	風俗慣習の部 選択
2	選択 無形民俗文化財	民俗芸能・ 行事関係	S53.1.31	古要神社の傀儡子	古要傀儡子 保存会	民俗芸能の部 選択

# 県指定文化財一覧

R6.8.1現在

件数	種別①	種別②	指定年月日	名称	所有者	摘要
1	有形文化財	建造物	H2.3.29	やま 箭山神社角塔婆	箭山神社	高さ116cm、四面それぞれに墨書種子がある。
2	有形文化財	建造物	S49.3.19	古羅漢国東塔	個人	古羅漢の巨岩の突端にある。塔身は長く反花には蓮弁の彫刻はない。総高2.34m（室町時代）
3	有形文化財	建造物	S53.3.31	屋成家墓地国東塔	個人	屋成家墓地石塔群の中の二基。 一号基 総高 196cm（弘安五年：鎌倉期）
4	有形文化財	建造物	H3.3.26	羅漢寺橋	中津市	三連アーチ石造橋 大正6年3月着工 大正9年9月竣工 橋長 91m
5	有形文化財	建造物	H15.3.31	檜原山の梵字鳥居	正平寺	神仏混合の檜原山正平寺にあり、仏教の梵字が彫り込まれている珍しい鳥居。
6	有形文化財	建造物		馬溪橋	中津市	大正12年（1923）に竣工した、山国川上に位置する橋長81.93mの5連アーチ橋。近代の石橋建造の技術と文化を伝える貴重な石橋
7	有形文化財	美術工芸品	S55.4.8	永岡家刀	個人	銘：平鎮種 「星屑鎮種」 刃長2尺6寸2分5厘
8	有形文化財	美術工芸品	S58.4.12	徳永家槍	個人	銘：信国吉則 刃長29.1cm
9	有形文化財	美術工芸品	S50.3.28	新宮権現社 <small>かけぼとけ</small> 懸仏（一五）	新宮権現社	この中の十一面観音像を留めたものは鎌倉後期か南北朝期のもの。
10	有形文化財	美術工芸品	S49.3.19	新宮権現社 <small>わにぐち</small> 鰐口	新宮権現社	直径21cm、応永35年（1428）の銘を持ち、大分県内で発見されているものでは二番目に古い。
11	有形文化財	美術工芸品	S51.3.30	木造地藏菩薩坐像	雲谷寺観音講中	檜材 寄木造 玉眼 白毫像高61.9cm（南北朝時代）
12	有形文化財	美術工芸品	S51.3.30	木造菩薩形坐像	雲谷寺観音講中	檜材 寄木造 玉眼 白毫像高35.9cm（南北朝時代）
13	有形文化財	美術工芸品	R4.2.25	木造大日如来坐像	久福寺	観音堂に観音菩薩として祀られる。一木造で像高は104.8cm。11～12世紀の作。
14	有形文化財	美術工芸品	S59.3.30 S61.3.31 附一部追加指定	妙見堂木造妙見菩薩坐像 附 男女神像（二軀）・妙見菩薩像（一軀）・阿弥陀如来像（一軀）・菩薩形神像（一軀）	青地区	洞門駐車場より妙見岩を30分ほど登ると妙見窟にたどりつく。そこに設置している祠に安置されている。いずれも一木造りで肌の立体感があり平安時代の作風がよく表現されている。
15	有形文化財	美術工芸品	H2.3.29	古羅漢石造観音菩薩坐像 附 木製五輪塔（一基）・紙本墨書光明真言種子（一紙）・納入人歯（右上顎第一臼歯）（一本）・石造仏像（八軀）	個人	総高111cm。この観音菩薩石仏の左膝より一木造りの五輪塔（高さ7.4cm）が納入されていた。その五輪塔の底部に光明真言種子を墨書した紙片と人歯が納められていた。（正平17年）
16	有形文化財	美術工芸品	H.27.2.24	木造阿弥陀如来立像	浄安寺	像高76.2cm。檜材を用いた寄木造の仏像。当寺の本尊であり、平安時代末期に中央仏師の手で制作されたと考えられる。
17	有形文化財	美術工芸品	S35.3.22	池大雅筆障壁書画	自性寺	池大雅の遺墨46点
18	有形文化財	美術工芸品	H.27.2.24	薦社縁起絵	薦神社	薦神社に伝来する縁起絵3幅で、三角池や宇佐宮及び関連する神社の様子がわかることから、絵画としても重要な作品
19	有形文化財	美術工芸品	H22.3.30	惣町大帳及び市令録	中津市	中津町会所の記録。享保3年（1718）から文久2年（1862）までが現存。
20	有形文化財	美術工芸品	H2.3.29	深水家遺跡出土遺物	個人	銅銭・和鏡・鉄小刀・鉄鉈・鉄鎌などが備前燧の中に一括して納められていた。
21	記念物	史跡	S32.3.26	植野貝塚	中津市	縄文後期の貝塚。土器をはじめ、自然・人工遺物などから当時の生活を知ることができる。
22	記念物	史跡	S51.3.30	三角池と薦神社	薦神社	御神体である三角池および社殿。神門は細川忠興の再建。
23	記念物	史跡	S57.3.30	棒垣遺跡	中津市	縄文後期から弥生前期にかけての集落跡。
24	記念物	史跡	H21.3.17	中津城おかい山	自性寺	中津城下町一帯を守るために築かれた土塁。九州には中津にしか残っておらず、市内で最も残りのよいもの。

# 県指定文化財一覧

R6.8.1現在

件数	種別①	種別②	指定年月日	名称	所有者	摘要
25	記念物	史跡	H22.3.30	相原山首遺跡	中津市	古代の中津周辺をおさめた豪族達の累代墓。仏教需要の様相を解明するうえで重要な遺跡。
26	記念物	史跡	S59.3.30	川平間歩の跡	荒瀬井堰土地改良区	貞享3年(1686)着工、元禄2年(1689)完工、昔のままのノミの跡が残る。
27	記念物	史跡	S17.8.10	青の洞門	中津市	菊池寛の小説「恩讐の彼方に」の舞台となり、禅海の名とともに有名である。
28	記念物	史跡	H2.3.29	へぎ粉洞穴	中津市	縄文時代の洞穴遺跡。洞穴内からは67体の縄文時代の人骨や土器、石器、骨角器などが多数出土した。
29	記念物	史跡	H23.3.29	長岩城跡	個人	野仲氏によって築城され、黒田長政に攻め落とされた中世の山城。大規模な石積み遺構を持つ。
30	記念物	史跡	H25.3.15	相原廃寺付塔心礎	個人ほか	7世紀後半に建立されたと考えられている寺跡。
31	記念物	史跡	H26.2.14	中津城跡	中津神社 中津大神宮 城井神社 財務省 中津市	天正15年に豊前六郡を拝領した黒田孝高によって整備が始まった九州最古の近世城郭。
32	記念物	史跡	H31.3.12	平田城跡	中津市ほか26人	野中氏代々の抱城で黒田騒動で有名な栗山大膳が生まれた城。
33	記念物	史跡	R2.2.7	法垣遺跡	中津市	縄文時代の集落跡。掘立柱建物、堅穴住居跡などが発見された。
34	記念物	天然記念物	S55.4.8	三角池の水生湿地群落	薦神社	6世紀末から7世紀中頃に築かれた人工池。貴重な生物群集がある。
35	記念物	天然記念物	S51.3.30	長谷寺境内林	長谷寺	長谷寺境内のコジイ・アカマツなどの自然林19,960㎡。
36	記念物	天然記念物	S51.3.30 S59.3.30	田口のイチイガシ林	中津市	八面山中腹にあるイチイガシ林など5,916㎡。
37	記念物	天然記念物	S54.5.15	高平のイワシデ林	個人	本耶馬溪町の北東端、八面山の南側に群生している。
38	記念物	天然記念物	S28.4.20	ブナの原生林	中津市・農林水産省	現在では、少なくなったブナの木の原生林。
39	記念物	天然記念物	S28.4.20	千本カツラ	林野庁	桧原山中腹にあり、高さ30m、下部の周り11mある桧原山で修行した役の行者が植えたといわれるカツラ。
40	記念物	天然記念物	S32.3.26	ゲンカイツツジ	中津市	川原ロー帯に多く、春三月頃に紫色の花を咲かせる別名「彼岸ツツジ」ともいわれるツツジ。
41	記念物	天然記念物	S32.3.26	キシツツジ	中津市	山国川筋の山移川との合流点から下流へ4kmに多く自生し、5月頃に紅色又は白色の花を咲かせる特殊なツツジ。
42	民俗文化財	有形民俗文化財	S34.3.20	織部燈籠	個人	古田織部の考案と伝えられている燈籠。キリシタン関係資料。
43	民俗文化財	無形民俗文化財	S32.3.26	北原人形芝居	北原人形芝居保存会	700年前から伝わる操り人形芝居。
44	民俗文化財	無形民俗文化財	H16.3.30	中津祇園	中津祇園祭保存協議会	1430年頃の起こりと伝わる。山車での祭りは、1673年、時の藩主小笠原長勝公の時代より始まる。
45	民俗文化財	無形民俗文化財	H.21.3.17	鶴市傘鉾神事	鶴市花傘鉾保存振興会	お鶴・市太郎親子が人柱となった伝説が残る。神幸は1164年の始まりと伝わる。
46	民俗文化財	無形民俗文化財	S58.4.12	桧原まつ	桧原まつ保存会	桧原山正平寺で行なわれる神仏習合の御田植祭。
47	民俗文化財	無形民俗文化財	H29.3.7	宮園楽	宮園かつば楽保存会	雲八幡神社で行われるかつば祭りとよばれる楽打ち

## 県選択文化財一覧

		種別②	指定年月日	名称	所有者	摘要
1			S37.2.27	中津祇園会		記録作成等の措置を講ずべきものとして選択

# 市指定文化財一覧

R6.8.1現在

件数	種別①	種別②	指定年月日	名称	所有者	備考
1	有形文化財	建造物	S60.6.20	石幢	個人	室町・桃山時代の八角石幢。
2	有形文化財	建造物	S52.4.1	一石五輪塔	長谷寺	長谷寺境内の石垣の中にあり、総高75cm。
3	有形文化財	建造物	S52.4.1	香紫庵宝塔	個人	塔身に梵字陰刻、総高140cm。
4	有形文化財	建造物	S54.11.7	長谷寺国東塔	長谷寺	長谷寺境内にあり、総高159cm。
5	有形文化財	建造物	S54.11.7	熊野権現宝塔	長谷寺	長谷寺境内にあり、総高144cm。
6	有形文化財	建造物	S54.11.7	堀田平石塔群	長谷寺	長谷寺境内八十八ヶ所巡りのコース内にあり、宝塔・板碑・五輪塔群。
7	有形文化財	建造物	S54.11.7	キリシタン墓	個人	通称「トマス墓」と呼ばれる隠れキリシタンの墓。
8	有形文化財	建造物	H5.1.29	泰源寺橋	西秣区長	眼鏡橋。幅2m、長さ11.5m、径間9.5m、環厚0.42m。
9	有形文化財	建造物	S48.11.9	粉宝塔	粉地区	相輪は後補で、笠塔身、基礎とも完全なものである。(室町後期)
10	有形文化財	建造物	S48.11.9	雲谷寺の宝篋印塔	雲谷寺地区	相輪は三輪を残して上部は欠損、笠及び塔身基礎はほぼ完全に残っている。
11	有形文化財	建造物	S48.11.9	僧了海の真蹟	葉山神社	柱には禅海と石工藤助の名前等が刻まれている。
12	有形文化財	建造物	S50.6.11	屋成家墓地石塔群	個人	宝塔10基以上、五輪塔40基以上散在する。
13	有形文化財	建造物	S56.3.5	今行国東塔	個人	総高186cm。相輪、笠、塔身、基礎ともほぼ完型。
14	有形文化財	建造物	S56.3.5	今行宝塔	個人	総高168cm。相輪は三輪を残して欠失している。
15	有形文化財	建造物	S50.1.10	久福寺門前宝塔	久福寺	久福寺前の室町時代末期に立てられた宝塔。
16	有形文化財	建造物	S50.1.10	尾園板碑	個人	室町時代に立てられたたかさ140cmの板碑。
17	有形文化財	建造物	S50.1.10	中尾邸五重塔	個人	室町時代末期に立てられた高さ168cmの五重塔。
18	有形文化財	建造物	S50.1.10	中尾邸三重塔	個人	室町時代末期に立てられた高さ122cmの三重塔。
19	有形文化財	建造物	S50.1.10	中村邸宝塔	個人	長岩城主の菩提寺跡にある室町時代末期の宝塔。
20	有形文化財	建造物	S50.1.10	正平寺宝塔一号	桧原山正平寺	正平寺開山正覚上人の墓と伝えられている宝塔。
21	有形文化財	建造物	S50.1.10	正平寺宝塔二号	桧原山正平寺	鎌倉時代初期または平安時代末期に立てられた宝塔。
22	有形文化財	建造物	S50.1.10	千人塚両面板碑	個人	旧代官道沿いに立てられた高さ123cmの板碑。
23	有形文化財	建造物	S50.1.10	下長谷五輪塔	個人	室町時代末期に立てられた五輪塔。
24	有形文化財	建造物	S50.1.10	相良邸宝篋印塔	個人	豊前相良氏の供養塔と云われる宝篋印塔。
25	有形文化財	建造物	S50.1.10	薬師堂異形宝篋印塔	池の塚集落	高さ107cmの室町時代の宝篋印塔。
26	有形文化財	建造物	S50.1.10	原井石塔群	個人	宝篋印塔六基、宝塔又は五輪塔が5～6基の石塔群。
27	有形文化財	建造物	S50.1.10	棕権現宝塔	新藤野集落	高さ80cmの室町時代後期の宝塔。
28	有形文化財	建造物	S50.1.10	甲屋敷石塔	個人	室町時代の石造板碑2基他五輪塔、宝塔。
29	有形文化財	建造物	S50.1.10	御祖神社宝塔	御祖神社氏子	御祖神社境内の岩上にある総高109cm、鎌倉時代の宝塔。
30	有形文化財	建造物	S50.1.10	飛瀬宝篋印塔	個人	総高109cmの室町中期の宝篋印塔。
31	有形文化財	建造物	S53.12.1	勝宮守及び子戸自売の墓	久福寺	久福寺の巖窟にある奈良時代の日本後記に名を知られた賢女とその夫の墓。
32	有形文化財	建造物	S53.12.1	奥邸五輪の塔	個人	鎌倉時代の五輪の塔。

# 市指定文化財一覧

R6.8.1現在

件数	種別①	種別②	指定年月日	名称	所有者	備考
33	有形文化財	建造物	S54.2.17	五輪塔 二基	個人	長尾雄一家の墓地内にある。火輪の一辺が55cm、安山岩製で室町期の製作とされる。
34	有形文化財	建造物	S54.2.17	宝塔 一基	中津市	碑文の末行に文明4年(1472)の年号有り。
35	有形文化財	建造物	S54.2.17	石幢	中津市	塔身、笠、共に六角形。塔身の各面に地藏像が線で刻まれている。明応10年(1501)銘有り。
36	有形文化財	建造物	S56.4.14	生田家門及び井戸	中津市	中津藩、家老生田家の門と井戸。
37	有形文化財	建造物	S60.6.20	大江医家屋敷	中津市	江戸時代の建築。御典医の屋敷(医局・薬局)の面影がある。
38	有形文化財	建造物	S60.6.20	山門	個人	江戸時代の棟門造りの建築。
39	有形文化財	建造物	H18.5.31	薦神社呉橋	薦神社	屋根付きの太鼓橋の形をとる呉橋は、太宰管内志にも登場。
40	有形文化財	建造物	S63.12.22	亀岡八幡宮本殿	個人	中世この地域最大の実力者「中間氏」の氏神様。
41	有形文化財	建造物	S63.12.22	新宮神社本殿	草本地区氏子	熊野速玉大社を勧請。総檜づくりの建築。
42	有形文化財	建造物	H25.4.23	旧宇野屋住宅	中津市	商家・宇野屋の建物と推定。江戸～明治初期の町屋の特徴を残す。
43	有形文化財	美術工芸品	S60.6.20	翁面と太鼓	個人	寛永18年(1641)大貞神能に小笠原公が奉納した翁面と奥平公ゆかりの能太鼓。
44	有形文化財	美術工芸品	S60.6.20	一節截	個人	一重切とも呼ばれる尺八の一種で中国より伝来した楽器。
45	有形文化財	美術工芸品	H16.2.13	徳永家槍(大笹穂)	個人	銘：豊州高田住 藤原貞行 刃長：九寸九分
46	有形文化財	美術工芸品	H19.8.10	刀	個人	嘉永の頃。「則近作」の銘あり。
47	有形文化財	美術工芸品	S54.1.10	ビワ(琵琶)	中津市	盲僧ビワといわれ稀なものである。作者不詳、材質は栓の木。
48	有形文化財	美術工芸品	H15.5.16	日本刀	個人	銘：平鎮元 刃長：2尺6寸
49	有形文化財	美術工芸品	H19.8.10	刀	個人	寛文～延宝。「長利」の銘あり。
50	有形文化財	美術工芸品	H12.1.21	木造観音菩薩立像(通称火伏せ観音)	西嶺瀬自治会	1 軀 室町時代(16世紀前期)
51	有形文化財	美術工芸品	S48.11.9	十一面観音立像	中ノ迫地区	カヤ材の一木造り。腐食が著しく相ぼうははっきりしない。(平安末期)
52	有形文化財	美術工芸品	S48.11.9	古羅漢磨崖仏		古羅漢の巨岩の東中腹に彫刻されている。半肉彫で優美な面相の毘沙門天像である。
53	有形文化財	美術工芸品	S50.6.11	木造吉祥天女立像	宝福寺	三面宝冠をいただく吉祥天立像。(平安末期)
54	有形文化財	美術工芸品	S50.6.11	木造菩薩形立像	川出原地区	寄木造りで両手首、両足先は欠損している。(江戸末期)
55	有形文化財	美術工芸品	S54.1.10	阿吽対面	中津市	荒神面。日田熊本にあるものに近い特徴を持つ。(室町時代)
56	有形文化財	美術工芸品	S54.9.19	石造地藏菩薩像	中津市	青の洞門内にあつたものを移し、現在は耶馬溪風物館に安置している。
57	有形文化財	美術工芸品	S50.1.10	甲屋敷薬師如来立像	個人	木造で像高111cm、平安時代の薬師如来立像。
58	有形文化財	美術工芸品	S50.1.10	杠葉釈迦如来立像	杠葉集落	木造で像高98cmの釈迦如来立像。
59	有形文化財	美術工芸品	S54.2.17	木造不動明王立像	庄屋村自治区	藤原末期から鎌倉期の作品。高さ95cmの一木造り。右手を欠く。
60	有形文化財	美術工芸品	S54.2.17	木造毘沙門天立像	庄屋村自治区	藤原末期から鎌倉期の成立。高さ95cmの一木造り。

# 市指定文化財一覧

R6.8.1現在

件数	種別①	種別②	指定年月日	名称	所有者	備考
61	有形文化財	美術工芸品	S54.2.17	木造観音立像頭部	寺川自治区	大友宗麟の英彦山攻めで火災に遭い、村人が背負って逃げたが顔の一部が焼けたと伝わる。
62	有形文化財	美術工芸品	S54.2.17	木造地藏像一体	成政自治区	室町期～桃山期の成立とみられる。昔は子どもたちと水浴びをしていたという伝説がある。
63	有形文化財	美術工芸品	H30.3.30	木造薬師如来坐像 附位牌	久福寺	本堂に安置。一木造で像高39.3cm。像底に銘より嘉吉元年(1441)に造立と分かる。同一時期作とみられる蕨野勝宮守夫妻の位牌がある。
64	有形文化財	美術工芸品	H25.4.23	聖徳太子坐像(講讃像)	寶蓮坊	聖徳太子が「勝鬘経」を講じた時の姿を現したものの。室町末から江戸時代初期の頃の作と推定。
65	有形文化財	美術工芸品	H28.5.10	石造文殊菩薩坐像(禅海和尚の墓)附 伝禅海和尚遺品)	中津市	青の洞門を発掘した禅海和尚の逆修墓及び洞門開鑿に用いたと伝わる道具
66	有形文化財	美術工芸品	S60.6.20	祇園会記録	中津市	中津祇園会の下祇園祭礼記録。享保14年(1729)より200年余りにわたり書き継がれる。
67	有形文化財	美術工芸品	S60.6.20	野依文書	個人	江戸時代の野依村庄屋文書。
68	有形文化財	美術工芸品	S60.6.20	樋田文書	個人	元享2年(1322)以降の宇佐宮関係文書含む。
69	有形文化財	美術工芸品	S60.6.20	山崎文書	個人	山崎家は奥平家の家老職にあたる。御用所日記等、資料多数。
70	有形文化財	美術工芸品	S60.6.20	伊藤田文書	個人	江戸時代の上伊藤田村庄屋文書。263点。
71	有形文化財	美術工芸品	S60.6.20	荒瀬井手発端書	中津市	明治4年(1871)今津組大庄屋、今津小十郎が民政方御役所に宛てた文書。
72	有形文化財	美術工芸品	S50.6.11	屋形家文書	個人	中世(南北朝、室町時代)の文書多数。
73	有形文化財	美術工芸品	H27.4.24	野中文書	個人	鎌倉時代から江戸時代末までの古文書群。宇都宮姓野仲氏の動向を伝える中世文書と江戸時代の戸原村の様子を伝える近世文書からなる
74	有形文化財	美術工芸品	R6.7.26	湯屋家文書	個人	現在の大字湯屋一帯を拠点に活動した湯屋氏に関わる古文書群。
75	有形文化財	美術工芸品	S56.4.14	進脩館扁額	中津市	藩校進脩館の扁額、時の藩主奥平昌高の筆跡。
76	有形文化財	美術工芸品	S60.6.20	耶馬溪真景画版木	中津市	郷土絵師松田竹園(彦彦)の耶馬溪真景画版木100点余り。明治25年(1892)出版。
77	有形文化財	美術工芸品	S53.12.1	光円寺格子天井の 書画	松栄山光円寺	文政3年に当時の住職が集めた当時有名な大家から集めた格子天井の書画。
78	有形文化財	美術工芸品	S54.2.17	天満宮縁起絵巻	菅原神社	菅原道真公の一代記と北野天神の利生記からなる全6巻。
79	有形文化財	美術工芸品	S48.11.9	雲西寺の経堂・経典	雲西寺	大蔵経などの仏教書、四書五経の一部や古事記、日本書紀をはじめ江戸時代の文学書など。
80	有形文化財	美術工芸品	S56.4.14	土偶二鉢	中津南高等学校	昭和24年(1949)南校校庭で土器と共に出土。縄文時代後期。
81	有形文化財	美術工芸品	R5.6.30	法垣遺跡出土品	中津市	法垣遺跡の発掘調査で出土した石製品1点、土製品7点。
82	有形文化財	美術工芸品	S56.4.14	白石照山の墓 付 記念碑	中津市	白石照山：文化12年(1815)～明治16(1883)年



# 市指定文化財一覧

R6.8.1現在

件数	種別①	種別②	指定年月日	名称	所有者	備考
83	有形文化財	美術工芸品	S56.4.14	独立自尊之碑	中津市	明治37年(1904)建立。筆跡は明治の書家、日下部東作(鳴鶴)。
84	有形文化財	美術工芸品	S56.4.14	奥平関係資料	個人	白鳥の槍、信昌公甲冑、鳥居強右衛門の図、長篠合戦図、徳川家康の親書。
85	有形文化財	美術工芸品	S60.6.20	お水道の石樋	中津市	元和6年(1620)細川忠興が三口より城内まで水道を引く。承応元年(1652)には町中水道を埋設。
86	有形文化財	美術工芸品	H12.1.21	村上医家関係資料	個人	寛永17年(1640)以来、現在に至るまでの医学関係および蘭学関係資料。
87	有形文化財	美術工芸品	H12.1.21	蘭語訳撰	中津市	文化7年(1810)江戸で出版された日蘭辞典。5冊
88	有形文化財	美術工芸品	H12.1.21	根来東叔の「人身連骨真形図」	個人	寛保元年(1741)、日本でも早い時期に人骨を詳細に観察し写生したものの一つ。2幅。
89	有形文化財	美術工芸品	H12.1.21	華岡青洲画像	個人	大坂合水堂で華岡青洲に学んだ大江雲澤が帰藩の際に持ち帰る。
90	有形文化財	美術工芸品	H12.1.21	旧辛島医家関係資料	中津市	4代辛島正庵の研究した痘瘡関係史料。
91	有形文化財	美術工芸品	H22.6.29	中津城下絵図	中津市	天保年間の中津藩政期中津城下の町割が詳細に描かれている絵図
92	有形文化財	美術工芸品	H22.6.29	豊前國中津勝景之図	中津市	幕末頃に山国川・駅館川・周防灘の水系を中心として旧豊前国の風景を描いたもの。
93	有形文化財	美術工芸品	H23.3.30	正行寺扁額(奥平昌高書)	正行寺	奥平中津藩主第5代奥平昌高が揮毫した扁額。正行寺住職の雲華上人と昌高の交友関係がわかる資料。
94	民俗文化財	有形民俗文化財	S60.6.20	高瀬の辻の道標	個人	勅使街道と日田街道が交わる要衝に建てられた道標。
95	民俗文化財	有形民俗文化財	S60.6.20	織部燈籠	個人	別称キリシタン燈籠。安土桃山から江戸初期の大名、古田織部の考案。
96	民俗文化財	有形民俗文化財	S60.6.20	納涼塚	個人	文化13年(1816)の建立。筆跡は、本田丹後守忠永。
97	民俗文化財	有形民俗文化財	H27.4.24	中津祇園の鉦	個人	両方の鉦とも伏鉦で、祇園の時に囃子鉦として使用されていた。
98	民俗文化財	有形民俗文化財	R5.6.30	白髭神社の神楽面	白髭神社宮司	木造・鍛金造の面。豊前神楽で用いられる面一式が揃う。
99	民俗文化財	無形民俗文化財	S60.6.20	かます餅祭り	貴船神社	白鳥の大群が芋の苗をくわえて飛来し、苗が餅となって飢える人々を救ったと伝わる祭礼。
100	民俗文化財	無形民俗文化財	S60.6.20	さいすくい祭り	貴船神社	宮下の小川に入り、すくいあげた小魚を神前に供え、豊穰の感謝と安泰を祈念する神事。
101	民俗文化財	無形民俗文化財	H21.5.28	小祝番所踊り	番所踊り保存会	島原の乱(1637年)に中津藩が出陣し多数の死傷者を出したため、その供養踊りとして始まった。
102	民俗文化財	無形民俗文化財	S50.1.10	大野八幡神社やんさ祭保存会	大野八幡神社やんさ祭保存会	応永元年(1394)より始まった野中氏にまつわる勇壮な裸祭り。
103	民俗文化財	無形民俗文化財	S50.1.25	豊前国耶馬溪神楽	本耶馬溪町神楽保存会	東谷村の頃、屋成多三吉という宮大工によって東谷と屋形に伝えられる。

# 市指定文化財一覧

R6.8.1現在

件数	種別①	種別②	指定年月日	名称	所有者	備考
104	民俗文化財	無形民俗文化財	S50.1.10	岩戸神楽	深耶馬神楽保存会 戸原神楽保存会	豊前岩戸神楽と称し、現在では戸原神楽社と深耶馬神楽社と2つの神楽社がその継承に努めている耶馬溪地方に伝わる神楽。
105	民俗文化財	無形民俗文化財	S54.2.17	白地楽	白地楽保存会	約280年前から伝わる楽。子ども4名、大人4名で水神(カッパ)を鎮める所作。
106	民俗文化財	無形民俗文化財	H29.5.8	樋山路楽・二瀬楽	樋山路共有	樋山路共有が保持するカッパ祭り。伊勢山大神社と二瀬天満宮でそれぞれ実施される。
107	民俗文化財	無形民俗文化財	R5.6.30	白髭神社の大名行列	白髭神社大名行列保存会	隔年の秋の祭礼時に奉納される疫病流行の折には中津藩主・奥平家による社参等を受けることも多く、この供奉の様子が大名行列の原型とする説もある。
108	記念物	史跡	S56.4.14	岩井崎横穴群	個人	550年頃から数十年にわたって造営されたと思われる。
109	記念物	史跡	S56.4.14	大畑城跡	七社宮	寿永3年(1184)頃、平家追討のため緒方惟栄により築城。
110	記念物	史跡	S56.4.14	烽火台	個人	文化4年(1807)、異国船に備えるため沿岸各地に設置された烽火台の一つ。
111	記念物	史跡	S56.4.14	藩校進脩館跡	中津市	寛政2年(1790)、奥平昌高により創立。明治5年に消滅。
112	記念物	史跡	S56.4.14	皇学校跡	個人	明治4年(1871)、増田宋太郎により創立。国学を教える。
113	記念物	史跡	S56.4.14	市学校跡	中津市	明治4年(1871)、福澤諭吉の建議により創立。洋学を中心に教授。
114	記念物	史跡	S56.4.14	村上玄水旧宅	個人	九州で最初の人体解剖を行い「解剖図説」を著す。現村上医家史料館。
115	記念物	史跡	S56.4.14	増田宋太郎生誕の地 附 西南の役中津隊の碑	中津市	大分県内最初の新聞、田舎新聞初代編集長として自由民権を唱える。西南の役で西郷軍に参加し戦死したと伝わる。
116	記念物	史跡	S56.4.14	小幡篤次郎 小幡英之助 生誕の地	中津市	篤次郎、慶応義塾の二代目学長となり福澤諭吉の片腕として活躍。英之助、日本歯科医師の祖。
117	記念物	史跡	S56.4.14	中上川彦次郎生誕の地	中津市	慶応義塾に学び、実業家として三井財閥の基礎を築く。
118	記念物	史跡	S56.4.14	水島鏡也生誕の地	中津市	神戸高商(現神戸大学)の初代校長を務めるなど初期の商業教育に尽力。
119	記念物	史跡	S56.4.14	和田豊治生誕の地	中津市	鐘紡・富士紡等の社長を歴任。
120	記念物	史跡	S56.4.14	合元寺の赤壁	個人	白壁に着いた血が何度塗りなおしても滲むため、遂に壁を赤く塗ったと伝わる。
121	記念物	史跡	S56.4.14	福澤家の墓	個人	福澤家4代の福澤友米の妻の墓と、福澤家・飯田家の合同墓二基。
122	記念物	史跡	S60.6.20	雲華上人墓	正行寺	安永2年(1773)～嘉永3年(1850)、正行寺の僧。学問に秀で、書画にも優れた。
123	記念物	史跡	S60.6.20	城土遺跡	個人	鎌倉から室町時代の地下式横穴墓。
124	記念物	史跡	H14.10.1	御船寄	大分県	江戸期、中津藩の海の玄関口。
125	記念物	史跡	S54.11.7	臼木古墳 第一号墳	個人	6世紀頃の円墳墓で一部開口している。
126	記念物	史跡	S54.11.7	臼木古墳 第二号墳	個人	1号墳とほぼ同じ大きさで羨道部が開口している。

# 市指定文化財一覧

R6.8.1現在

件数	種別①	種別②	指定年月日	名称	所有者	備考
127	記念物	史跡	S54.11.7	臼木古墳 第三号墳	個人	玄室・羨道部の石組みが露出している。
128	記念物	史跡	S54.11.7	臼木古墳 第四号墳	個人	石組みが一部露出している。
129	記念物	史跡	S48.11.9	阿羽羅堂	中ノ迫地区	八面山南側の中腹、七曲峠の近くにあり、中の迫より徒歩40分。(奈良時代)
130	記念物	史跡	S48.11.9	代官道路	割子谷地区	西谷割子谷地区より耶馬溪町山移に通じる道路で、点々と石畳が残っている。
131	記念物	史跡	S54.9.19	羅漢寺旧参道	羅漢寺	本耶馬溪町門前地区より羅漢寺への参道で百間馬場とも呼ばれている。
132	記念物	史跡	S50.1.10	ホキの上古墳	個人	6世紀頃に造られた径約7m、高さ4mの円墳。
133	記念物	史跡	S50.1.10	姫塚	個人	戦国時代、長岩城落城にまつわる追悼の塚。
134	記念物	史跡	S50.1.10	大木原普門寺石塔群	個人	室町時代の宝篋印塔、宝塔、五輪塔23基。
135	記念物	史跡	S50.1.10	後藤又兵衛の墓	個人	黒田長政に仕えた後藤又兵衛の墓。
136	記念物	史跡	S53.12.1	一ツ戸城址	一ツ戸集落	戦国時代、当時としては珍しい入れ札で黒田氏と和解した中間氏の居城。
137	記念物	史跡	S54.2.17	身代わり不動	所小野自治区	英彦山49窟の一つと推定されている。身代わり観音の伝説有り。
138	記念物	史跡	S54.2.17	三所権現社	三所権現氏子	社殿創建は南北朝以前。神仏分離令にも屈せぬ社機構。
139	記念物	史跡	H22.6.29 H23.7.28 H24.5.22	中津城おかこい山	個人	中津城下を守る要塞として、外堀沿いと中堀沿いに築かれた土塁。
140	記念物	史跡	R6.7.26	坂手隈城跡	中津市	坂手隈城跡の外堀とそれに伴う土塁。
141	記念物	天然記念物	S56.4.14	天満宮の照葉樹林	個人	犬丸天満宮の自然林。
142	記念物	天然記念物	S60.6.20	長久寺のコジイ林(アラカシ林)	個人	田丸城跡の濠内側の土塁上に自生。
143	記念物	天然記念物	S52.4.1	サザンカ	個人	推定樹齢400年
144	記念物	天然記念物	S52.4.1	キンモクセイ	個人	推定樹齢400年
145	記念物	天然記念物	S53.12.1	光円寺のしだれ桜	竜求山光円寺	樹齢350年以上といわれ、樹の太さ約3m、高さ10mの枝垂桜。
146	記念物	天然記念物	R6.7.26	ベッコウトンボ		野依新池に生息する年1世代のトンボ。絶滅危惧種 I A類
147	記念物	名勝	S54.2.17	魔林峡	中津市	甌穴の岸壁がせり立つ渓谷。
148	記念物	名勝	S54.2.17	雪舟庭	個人	雪舟が大分に10年滞在した時に築いたのではと伝えられる。